

師を始め矢吹旭美津、久徳旭蘭、田中鵬水その他約四十人が集まり日頃の練習を交々披露したあと忘年の宴を開き、なごやかな初冬の半日を楽んだ。

五洲会琵琶演奏会

十一月四日(土)夕六時東京上野本牧亭(七百円)。録の木中村洲心 小野訓導(彼ノ矢洲友 松の廊下(桑名洲聖 討入前後(松崎洲稜 村上喜剣(平井洲誠 別れの盃(荒川洲帆 山科の別れ(山田洲鳳 雪晴れ(前田洲月 常陸丸(来賓仲川秀邦 舟弁慶(同山口速水。

京都琵琶協会十二月定例茶話会

十二月五日(日)昼会員古谷竟水氏宅で開催。今春来の大病も殆ど回復し静養中の古谷氏の勸請により向日市の同氏宅に伊吹正陽、馬場鴨水、戸田旭公、田中鵬水、梅原旭濤、矢吹旭美津、山岡旭清、牧雨水、古谷竟水、荒木旭媛、鹿師旭富、水内煥水、平井春嶺、植村真水各会員が集り左記演奏のあと古谷夫人心尽しの夕宴に盃を傾けつゝ芸談等に花を咲かせ楽しい半日を過ごして薄暮散会。義人天野屋(平井 豊太閤(荒木 山科の別れ(牧高田の馬場(山岡 田村邸(田中 大石主税(戸田 松の廊下(馬場 井伊大老(植村。

京都琵琶協会の義士祭演奏会

十二月十二日(日)昼京都市東山安井金比羅宮

会館、義士関係曲十三曲。(次号詳報)

針谷錦古氏の功績

高崎市在住の同氏は十四才で琵琶道に志し七十三才の今日まで約六十年の永きに亘つてこの道一すじに生きて来た人で、現在のお弟子さんは琵琶百五十人、詩吟二千人を擁し錦古流宗家として確固たる基盤を堅め活躍中で、過般上毛新聞記者の来訪を受け伝統芸能琵琶・詩吟の真髓について対話された記事が同新聞「ころろ」欄に掲載され読者の大きな注目を引いた。(同紙記事による。写真省略)

柴田旭堂女史大阪文化祭賞受賞

大阪府、大阪市、府教委、市教委共催の五十一年度大阪文化祭賞が十二月八日決定した。参加百二十八件の中から邦楽邦舞、洋楽洋舞十八件(本賞九、奨励賞九)が選ばれ、琵琶は神戸の柴田旭堂女史演奏の「那須与市」が本賞に入選、同二十三日大阪国際ホテルに於て授賞式が挙げられた。

錦号者の暫定的代表者決定

故名人吉水錦翁(小田原国尊)師亡きあと錦号者統一のため後継者が物色されていたが適当な人が見当らず、やむなく高弟の坂本錦道氏が今般暫定的に代行される事となった。

ラヂオ琵琶放送

十二月二日(内)夕五時NHK・FM。湖水乗切(荒井姿水、接待(山田洲鳳両氏放送。

予告

○京都琵琶協会一月定例茶話会 一月九日(日)昼一時、本部平井春嶺氏宅。初顔合せに

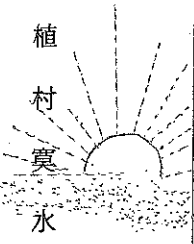
琵琶 機関紙

京 絃

第二七一号 京 絃 社

年 頭 の 辞

主幹 植村 真水



昭和五十二年の新春を迎え謹んで御祝詞を申し述べ、併せて絃友同好各位の御健勝をお慶び申し上げます。昨年中は色々御垂教御愛読を忝うし有難うございました。どうか本年もよろしくお願い申し上げます。

戦後の混乱期から立ち直り、漸く民心が落ち着きを取戻しかけた昭和二十九年に月刊紙「京絃」第一号を発刊し、爾来今日まで一回の遅刊欠刊もなく、二十数年の永きに亘り刊行を続けさせて頂いているという事は、偏見に読者諸氏の深い御理解の賜ものと感謝感激に堪えない次第でございます。

「京絃」は琵琶文化の向上、琵琶人の人格陶冶、琵琶の振興発展の三大目標を根幹として皆様の御支援のもとに、益々内容の充実を計り御期待に副いたいと思いを新たに居ります。

伝統芸能邦楽の首位にある琵琶は、戦後徐々に復興のきざしを見、年を追って演奏会や他の邦楽等に伍して公演の機会が多くなっ

て居りますが、大正から昭和初期の隆盛時に較べればまだまだ微々たるもので、今後如何にして琵琶を発展させるかは一に現代琵琶人の双肩にかかって居ります。折角立派なこの伝統琵琶を先細りに終らせては、先輩諸師に対して申訳がありません。これに酬ゆる為には如何なる対策を講ずべきか。

まづ第一に若いお弟子さんの養成ということを挙げねばなりません。このことは既に本紙でもちよつと触れたことがありますが、薩摩系、筑前系の各流派を問わず現代琵琶人の大半は、明治大正生まれの高年齢層で、特に明治の人達は既に老境に入って他人に教えるという意欲も消え、単に自分の趣味娯楽の域を脱しないのが大部分で、僅かに大正から昭和にかけて生を受けた、年齢的に見て云わば

高中堅層の人々が教授所を開いて子弟の養成につとめて居られます。これは誠に結構で、特に弱年の子女に教養をとって居る人には心から敬意を表します。が、問題は、国文学軽

視の戦後の教育を受けた若者達には、文語体の現在の琵琶歌詞の解釈に苦しみ、歌詞そのものの意味が判らず、加えてこれに高低長短強弱の節付けをして演奏する場合、文意の理解に興味を持たせようとする方が寧ろ無理と云えるかも知れません。

この意味に於て、古典曲は古典曲として残すのは勿論大切な事に違いないが、別に若い人が琵琶の道に入り易いような現代語の歌詞を新作節付けし、同時にこれに見合うような弾法を創作して、成る程琵琶というものは良いものだ、と思わせるような方向に持ってゆく必要性を痛感いたします。

このことは云い得べくして一朝一夕に解決するような生まやましい問題では決してありませんが、だからと云って只無関心に旧態依然のまゝで済ませていては後を継ぐ人が段々無くなり、遠からず今の平家盲僧琵琶のように日本中で琵琶を弾ける人が数人しか居ないというような時代が来るのではないかと案じられるのであります。浄瑠璃が衰微し、浪曲師の何人かが歌謡歌手に転向し、若い人の多くが古典に耳を籜さず流行歌に走るといふことは何を意味するのでしようか。徒らに琵琶は伝統芸能として格調高い上品なものであるとお高止ましている時代は、残念ながら過ぎ去ろうとしているのではないでしようか。

目前の情性にとらわれず、活目して琵琶百年の計を建てられん事を切に念願して年頭の御挨拶といいたします。妄言多謝。

つき全員万障繰合せ出席されたし。  
○晴風一門演奏会 一月九日(日)昼一時東京杉並区立高円寺会館(千円) 会主浅野晴風氏(羽衣演奏)  
○三越名人大会 一月二十八日(日)東京日本橋三越劇場に於ける首記に八戸市の最上穂洲氏が「毒饅頭」演奏。

きかとあ

年頭の辞で柄にもなく生意気な事を云って申訳ない、筆者の熱意の発露として御寛容下さい。これに補筆が許されるならば、琵琶の宣伝に最も効果のある公開演奏会の場合、演奏歌詞の内容を事前に簡単に説明、或いはプログラムに之を附記する。一曲の演奏時間は十五分程度、長尺ものは二人、三人で分奏して原文全部を演奏する、飛び飛びに簡略化するの折角の名文を艶のない無味乾燥なものにしてしまふ。演奏会は昼夜を問わず四時間程度が適当で永くなければ聴衆を飽きさせる。楽器は出演前に充分調整を済ませておく、舞台上に於てから調子を合わせる不体裁は厳に慎みたい。舞台上の演奏者は腕時計、指輪など目ざわりとなるものは外して欲しい。会場に接近した楽屋の話しが聴衆の耳に入るのは演奏の邪魔になり不快の念を抱かせる、演奏中に交される聴衆席の私語亦同じ。お正月勿々堅いことを云って恐縮。乞御容赦。

昭和五十二年一月一日発行(非売品)  
編集者 植村 真水  
発行所 京 絃 社  
〒569 高槻市津之江北町一ノ二二三  
電話 〇七三六(七三)六〇五一

薩摩琵琶とその周辺 (二)

パ艦隊大遠征の壮途 根拠地なきロシア 航海中に旅順の陥落 続いて奉天の敗報 本國革命の勃発

東京 坂本 錦道

明治三十七年三月、クロバトキン大将が大ロシア軍満洲司令官として遼陽に着任、軍司令部工兵部長ウエリチコ中將をその防衛の責任者と定め、歩兵工兵及数万の支那人夫を督励日夜築城工事に努力し、日本軍をして一兵も河を渉らしめずと誓いし鴨緑江の線も一朝にして破れ、数か月を支え得べしと頼みし南山の壘も一日にして陥落、旅順は完全に包囲せられた。九月二日半歳を費して築城し鉄壁と頼みし遼陽もロシア軍は甚大なる損害を受けて敗走、遼陽の会戦は終りを告げた。

さて一方開戦以来本国に満を持していたバルチック艦隊の動静はどうなったか、日本朝野ばかりでなく世界の最も注目した一点である。ところがこの年の十月十五日その強力を豪語するパ艦隊は、一万八千里に及ぶ航程を経て日本遠征の途についたという一報である。戦艦七、重巡四、駆逐艦九、特務艦六の艦隊である。この日雪の降るリバウの軍港を後に、目指すは日本東郷艦隊撃滅の壮途につ

いた。この時点においては旅順に押し込められた艦隊はまだ健在であった。三笠級の「オーストリア」を加えて四隻の外合せて十一隻となる。之と反対に東郷長官の率いる戦艦は四隻、これ程の優劣十一対四では負けようと思っても負けられない算数の方程式である。

ところが日本の朝野では、この艦隊回航のニュースは同盟国イギリスの好意ある情報で手にとる如く判明すると雖も、神経を痛めることは相当なもので、各新聞は半歳に亘ってバルチック艦隊の記事の載らない日はなく、小学校の児童に至るまで必勝の祈願をしていた。この艦隊がそのまゝの戦力をもって東郷と戦うことが出来るかというところは、世界の海軍評論家がひとしく疑ったところであった。

もしもこの艦隊が旅順、浦塩の艦隊と合体した場合、之は東郷に全く勝味が無いと衆目は一一致する判断である。ところがバルチック艦隊は、その長大なる回航に次ぎから次ぎと思わざる困難と障壁にぶつかりながら、最も重大なる将兵の戦意の消耗はロジエストウエンスキーを見捨てる様相を濃厚たらしめた。それでも、よもや日本に負けようとは思ってはいなかった。古今、軍の作戦は秘中の秘であるべき常識を破って、ロシアは公然と出航を公表するといふことは如何に日本を弱小と見、日本近海に近づいて東郷艦隊を鎧袖の一触に唐らんとする傲慢なる態度で、今一つは神経戦とも称すべき大胆不敵な振舞と見るべきである。

リバウ軍港を出て七日目の夜であった、北海の中央ドツカ・バンクという地点に於てハルの漁船群を何と間違えたか、日本の水雷艇隊と感違して砲撃を加えた。日本の同盟国イギリスは日本側に援助的措置としてこの艦隊を狂犬艦隊と呼び、議会は司令官の本国召喚を要求、国旗の侮辱と賠償、弱者放棄に対する処罰の要求等厄介な国際問題を起しつゝ、第一回の寄港地スペインのグアイゴに入港するや忽ち冷淡にも二十四時間後に出港を要求される等、その遠征の序の口に於てケチの付き始めという散々なものとなった。

ロシアがこの一万八千里に及ぶ日本攻略の大遠征の航程の中には、一か所として安心して寄港すべき自国の根拠地というものは持合せがない。ロシアは数百年も前よりその南下政策の中には根拠地の確保という悲願がこめられていた、そしてロシアが之を気付いた徳川時代は既に歐洲の先進国が盛んに南北米アフリカ、中東アジア、太平洋圏に侵略を恣いまくりに各々植民地を持ち、出おくれたロシアの割り込む隙もなく僅かに北辺の千島、北海道、樺太に目を付ける範囲を出ていない、そして明治以降國際的政治軍事の舞台は支那の分割競争を重点として始まり、ロシアの軍事力を伴う南下政策が最も露骨に行われてきた。日清戦争によって割譲された日本の遼東半島に因縁を付け、露仏独の所謂三国干渉を以て新たにロシアが今度は之を横取りして

さてこの艦隊が喜望峰迂回するに当っては、ロシアと同盟国のフランスの植民地の港が所々にあるが、かねて日本政府より中立違反と疑われる一切の行為に対し仏政府に嚴重なる警告を送ること数回、之れ等の措置は日本と同盟国である英国が背後にあればこそ、仏国もバルチック艦隊に対する利益の供与は英国の眼がうるさいので殆んど阻止された。

喜望峰を迂回してすぐマダガス島に於ても、良港ディオ・スワレスで休養と載炭作業二週間の予定も英国の圧力に屈し、フランスは同港の使用を拒否せねばならぬ破目となり、その代り十二月二十九日同島北西部のノシベという貧弱な港に三か月も滞在を余儀なくされた。そこでこのノシベの街は俄然艦隊の一大歓楽地と化し、將兵の冥土の小遣銭はこの港のキャバレーの妖しい黒女のため殆んど吸い取られてしまった。

こうして遊びほうけていた將兵の頭上に、突如として冷水を浴びさせる悲報が届けられた、即ち旅順の陥落と艦隊の全滅である。兎も角準備を整えて三月十六日漸く印度洋に向って抜錨、一路カムラン湾に向う(その頃の仏領印度支那、今日のベトナムのサイゴンより北東の港湾)この地点に於ても英艦に見付けられて日本に監視されるやら、英国に抗議され艦隊は浪高き湾外に碇泊するやら、一部バンフオン湾に逃げると又抗議されカムラン湾に戻る。こんな事をして一か月、石炭の空費と今一つネボカトフ少將の率いる艦隊と

合体する都合もあったが、ネボカトフの率いる艦隊五隻といつても老朽ボロ軍船で、速力十ノットを出せない寧ろ邪魔の邪魔もの、無いより幾分ましだと云うしる物である。

茲で準備万端を整備するうちに又々二つの大なる悲報が舞込む、ロシア最後の乾坤一擲の拠点奉天敗戦を知った。(露軍三二万、日本軍二五万)全く信じられない敗報と、もう一の凶報は後続のネボカトフが持って来た新聞によつて、本国に於て一月二十二日あの「血の日曜日」と称される隠やかならぬ革命運動のぼつ発の知らせである。

バルチック艦隊にとつての楽観材料は一つとしてなく後に知ったことであるがセミヨノフの日記には「一日も早く東郷の砲火を浴びて死にたい、というのが多くの將兵の願ひである」と記されていた。この大航海は英国に悉く邪魔をされて野良犬の如く洋上を漂い続け、五月十四日カムラン湾より四十四隻の艦隊は抜錨して行方を晦してしまつた(以下次号)

播州姫路城哀話

辻 旭 城



姫路といえ、何といつてもお城が名物だ。市のほと中央にあって、姫山の丘上にその建築美を誇っている。

その昔城郭建築の発達した時代に建てられたもので、外観はあらゆる桃山建築の粹を集め、連立式の天守閣は豪華の極致と云える。天守閣は大小の天守を巧妙に渡し橋で直結され、その構えは至極複雑である。構造は五層から成り、大天守の外、西の小天守、乾小天守、東小天守の何れも三層で総て本瓦葺の千鳥破風、唐破風は変化に富み、大小各種の窓と狭間及び外敵の攻撃に対する銃眼の配置などは独得のものである。

本丸は高さ四十五米の天守閣や東、乾、西の小天守閣が威容に小山の如く聳え、その周辺は備前丸、西の丸、二の丸、三の丸等にかかれ、石塁を築いて堀、門、櫓などが適当に配置されている。建物は総てが白漆喰塗で、その白い建物の群が緑の小山から天高くそびえている。

姫路城は貞和三年(一三三六)の築城で、赤松則村の子貞範が姫山を中心として築城したのに始まるが、現在の規模は天正八年(一五八〇)秀吉が中国平定の根拠として三層の城を築き、後を受けて入城した池田輝政が慶長八年(一六〇一)、五層の天守閣を築き三重から成る堀を廻したものである。

西の丸には三百米にも及ぶ長局(ながつぼね)があって、立派な化粧櫓がついている。かつて徳川家康の孫千姫が大坂城焼討ちの際、坂崎出羽守によって救出され、本多美濃守忠政の子忠刻に再婚したときその居城として建てられたもので、当時は異彩を放っていた

た。この外数多くの哀話を秘めた遺跡が残っているが、中でも「播州皿屋敷」お菊井戸には涙をそそられる。

昔姫路城に青山鉄山という代官がいた。城郭には重役の武家屋敷があつて建物や庭園など何れも豪華を誇つていた。この屋敷から毎日代官所に出仕するのであるが、年若き独身の青山は腰元三人のうち絶世の美人と評判の高いお菊に思いを寄せて色々口説くが、お菊には植木職の三平という許嫁があり、操を立てて色よい返事をしない。

恋に破れた男の復讐心は恐ろしく色々考えた末が、青山家に伝わる十枚一組の「葵の皿」という家宝の事である。

五月雨の煙る或る日の夕方、役所から帰つて青山はお菊を呼び茶を所望して「菊よ、この品は青山家に伝わる家康公より拝領した重代の宝物だ、たとえ一枚欠けても鉄山身に代えても申訳をせねばならぬ、自分は昼間は不在、お前に預け置くから大切にするように」と云つて預けた。

それから青山は皿を紛失させる折をねらつている内、半月後の某日夕刻、お菊が里の父の病気で宿下がりをして留守に、十枚の皿のうち一枚を隠してしまつた。

宿下がりから帰つて来たお菊に鉄山は「菊、先達つてお前に預けた皿が俄かに入用になつた、出して呉れ」。お菊は立って皿箱を持つて来て蓋をあけ「一枚、二枚、三枚……八枚、九枚……あつ、一枚足りません。」と云つた。

一枚足りない？ 今一度よく改めて見よ。」青山の恐ろしい目つきに驚いたお菊は半狂乱「一枚、二枚、三枚、四枚……何度数えても有る筈のない皿の数……」

「菊、青山の家に仇をなさんと皿を隠しおつた憎つき奴め、誰に頼まれどこに隠したとせよとより身に覚えのないお菊、答えるすべもない。泣き叫ぶお菊を腰巻一つの裸にして、今は水の出も少なくなつて使つていない庭井戸の車木に荒縄で縛りつけ、底深い井戸の中へ上げたり下げたり、刀の鞘で尻を打ったりした末、荒れ狂つた鉄山は一刀のもとにこの荒縄を切つて落とした。

お菊は目を閉じ歯をかみ占めたまゝ、深い井戸の底へキリキリと車の音と共に落ち死んでしまつた……

やがて紅葉も散りはじめ夜は次第に更けてくると、遠寺の鐘が物凄くゴーン……。その時、井戸の車がキリ、キリ……。なまぐさい風に交つて悲しげな若い女の声で「まーい、二まーい……。ふと目をさました青山が行灯に火をつけると、目の前に髪ふり乱し口から血を流した腰巻姿のお菊の姿。「うらめしや青山鉄山、恨み晴らさておくべきか……」お菊の立っている畳はぐっしり濡れている。

「菊、迷い居つたな。」青山が刀を抜いて斬りつけると幻(まぼろし)の如く付きまとい、廁へ行くとそこにはお菊の姿、驚いて逃げ帰る廊下にもまたお菊の亡霊……。やがて狂い死するといふ、ご存じ「播州皿屋敷」の伝説である。

### 我が道を行く

六十五年(四五)

西郷 天 風



学生達にしてみれば、このタイトルの書きうつしやその和訳は中々骨がおれるものらしかった。殊に、随所に現われる会話の中に何を意味するのか判らぬ文句があり、その為め台本としてまともなようもなく、一同鳩首困惑の折もあつた、そんな時副支社長太田氏によって立ち処に解釈されたが、それは当時アメリカで流行の俗語などであり、彼地育ちの太田氏には得意の個所で、また学生達にはよき勉強になると感激の湧く処でもあつた。

かくて数本の洋画台本もまともになり、説明者用台本を書く手伝いも一応終つたので旭川へ戻つた私は、当分琵琶劇の跡絶えるのを機会に琵琶の演奏を試みることにした。

旭川の中央を縦断する師団通りの公園内にある公会堂で、二晩続きの独演会を計画したのである。独演会と称しても全く一人だけで押通すつもりではなく、毎晩錦座の大衆に宣伝する際飛入り歓迎を呼びかけること数回に及んだのだから、一人や二人は飛入りがあるものと期待した。亦客足も琵琶劇の人氣から見て二晩が適当と断定した訳だが、見込み通り二晩とも満員の盛況を見たものの飛入は一

人も現われず、結局前夜は六曲、次の夜は五曲の独演で終始し、曲目も段物の小教養と旅順開城を前夜は上段、次の夜は下段と二晩続きに分けたことが好評を拍し、二晩目の如き超満員の中から面会を求め来るファンも現われ、二十分の休憩時間も休養にはならなかつた。中には九州出身の北大学生で尺八の名手、高橋空山氏が先輩の宮川如山氏と共に来訪、二晩続きの独演会は前代未聞との讃詞を受け、その上翌日は札幌の肥後クラブに招待されたが、当分のクラブに宿泊することになつたのも奇縁である。

此クラブはその名の如く肥後からの観光旅行者などの宿泊所として設けられた建物で、その当時、萬沢医師の子供二人が勉学のため、女中一人と共に宿泊してある静かな家屋だつた。又萬沢医師は博士論文を携へて夫妻共々上京、折から彼の大震災で消息不明の処へ一夜盗賊におびやかされ、小学生の兄妹二人は落付いて勉強もできず困りおるとのこと、用心棒の役を受けつた事となつた訳だが、このクラブの裡は札幌市の中央を流れる豊平川を隔て、農村平野が左右に展げ、薄紫の連山をバックに点々たる農村の上を一条の霞がただよう風景を度々眺めて、私の為には彩管を揮うに絶好の機会となつた。

かくて数葉の作品を得た十月も央ばの頃、萬沢医師夫妻が無事帰つて来たので、用心棒の役を果たした私は小樽の錦座に呼ばれ意外な相談を受けた。近く歌謡曲入映画「水藻の花

の上映に際し、絶対必要な歌手の代りを琵琶で頼むと云うのである。とんでもない、いかに素人の考えでも之ばかりは無茶の一語につきる。「わしは水藻よ流れて咲いて末はいづこではてるやら」というのを琵琶でやれというのであつた。さあ、琵琶では駄目となると支社でも総力をあげて歌手さがしに真剣となり、太田副支社長自ら小樽にやつて来て私に協力を求め、いろいろ協議のすえ一応函館に走り、青森に出演中の歌手説得に当たるととなり、私は本間旅館の娘に歌の上手な人の有無を探ねることとした。

この旅館の娘花子は、下宿人同様の客である私の身のまわりの世話をうけもつ出戻りで、小樽高女時代の同窓、小林千代子を誇らしげに紹介して呉れた。

千代子は小樽公園下通り、小林金物店の娘で、かつて学校の開校記念日か何かの時招聘された音楽学校教授が、その天才的素質に感動し是非音楽家に仕立て見度いからと、直接両親に相談をした程の名手とのこと早速面接して見れば、映画のステージに経験のない彼女は「自信を持ってたら」と云う条件付きで承諾を得た。

一方函館の錦座では、青森で直接交渉の結果泣いて断わる歌手の立場に同情しながら、小樽まで二週間延長の確約に成功した。

この歌謡曲入と云う映画は今日の主題歌入の前身ともいふべきもので、「水藻の花」はその三番目に当り、第一番は大正の中期日本の

文芸界を風靡したロシア文学「復活」によって生まれた歌謡曲「カチューシャ」可愛いや別れのつらさ、せめてあわ雪とけぬ間に、神に願いをう、かけましょか」と松井須磨子主演で映画化し、第二番目が栗島すみ子主演の船頭小唄「オレは河原の枯すゝき、同じお前も枯すゝき」だつた。

この歌謡曲映画の出現によって、さしもん盛を極めた琵琶劇映画の凋落を早めたことも是非ない運命であつた。

さて、いよいよ問題の「水藻の花」が小樽の錦座に上映の日、千代子は早めに花子を訪ねて共に錦座へやつて来た。初めて聞く映画のなかの歌謡曲も、特別に技巧を必要とせぬことを知つた彼女は、会心の意をもらし喜んで出演の約を誓つたのであつた。

あの程度ならなんでもありません、と云うその言葉には、自信の程が満ちあふれていた。

### 短篇祝歌華燭

柴田 富山



あなた と呼べば あなた と答える 山  
のこだまの楽しさよ あなた なんだい 空  
は青空 二人は若い

仙客来遊雲外嶺 神竜棲老洞中洶  
雪如紉素煙如柄 白扇逆懸東海天  
(止) 白扇逆しまにかゝる東海の天



謹 賀 新 年	
<p>〒570 守口市緑町土居団地一丁目 小川吟水方 電話〇六(九九二)五六二五番</p> <p>錦心流琵琶 一水会大阪支部 会員一同</p>	<p>〒606 京都市左京区下鴨蓼倉町一六 馬場鴨水方 電話〇七五(七八一)三〇五〇番</p> <p>錦心流琵琶 一水会京都支部 会員一同</p>
<p>〒651 神戸市葺合区八幡通四ノ二ノ 一七久徳ビル 電話〇七八(二二二)一六一〇番</p> <p>筑前琵琶橋会師範 久徳旭蘭</p>	<p>〒040 函館市青柳町二六ノ一四 電話 (二二二) 八三六五番</p> <p>函館吟詠連盟 錦心流琵琶蘇水会 高橋蘇水</p>
<p>〒544 大阪市生野区小路二丁目 電話〇六(七五三)〇〇六六七番 電話〇六(七五三)〇〇六六七番</p> <p>高千穂旭楓</p>	<p>〒537 大阪市東成区神路三ノ八ノ一八 電話〇六(九八一)二二九一四 夜間〇六(九七二)二七七八番</p> <p>筑前琵琶日本旭会 東大阪旭会会長 榊本旭風</p>

謹 賀 新 年	
<p>〒164 稽古所 自宅 電話(三八一)八九二二番 新宿区下落合一ノ一 トキワバレス六七〇五 電話(三六二)〇〇六一番</p> <p>物語琵琶 宗家 浅野晴風</p>	<p>〒160 東京都新宿区三栄町十六 電話 (三五二) 四五九一番</p> <p>日本旭会 押田旭窃</p>
<p>〒369-12 埼玉県大里郡寄居町玉淀 電話〇四八五(八一)一七四〇番</p> <p>大井錦淀</p>	<p>〒184 東京都小金井市本町一ノ八ノ五 電話〇四二三(八一)三三四四番</p> <p>錦心流一水会多摩支部長 各流派琵琶武絃会事務所 伊藤馨水</p>
<p>出張所 百木 電話〇七九〇(六六) 二二四〇番</p> <p>出張所 永土 電話 (二五) 五六四六番</p> <p>出張所 兵庫県宍粟郡安富名坂 (円山旭芳方) 電話〇七九〇(六六) 二二四〇番</p> <p>支部 福岡市南区横手町三ノ一ノ二 (久保田旭園方) 電話 (五九) 一五七一番</p> <p>支部 長崎市上西山町九八 (副島旭仙方) 電話 (二六) 〇六五六番</p> <p>支部 福岡市南区横手町三ノ一ノ二 (久保田旭園方) 電話 (五九) 一五七一番</p> <p>本部 姫路市北平野南町六九二ノ一 電話 (八二) 一八三二番</p> <p>支部 長崎市上西山町九八 (副島旭仙方) 電話 (二六) 〇六五六番</p> <p>支部 福岡市南区横手町三ノ一ノ二 (久保田旭園方) 電話 (五九) 一五七一番</p> <p>本部 姫路市北平野南町六九二ノ一 電話 (八二) 一八三二番</p>	<p>〒670 筑前琵琶日本旭会 清真流吟詠会本部 西川旭操 門人一同 清真流会員一同</p>

# 年 新 賀 謹

〒154

東京都世田谷区太子堂二丁目  
二番八号  
電話 (四一四) 六五七八番

宮崎直二

〒520

大津市逢坂二丁目一ノ三  
(蟬丸神社前)  
電話〇七七五(二四)九三二八番

松岡旭岡  
伊藤旭暢

〒601

京都市南区吉祥院中島町三〇番九ノ  
電話 (六九一) 〇一二八番

会長 矢吹旭美津  
田中 鵬水  
富山 旭富貴  
西村 旭清  
一坊寺 旭清  
外門人一同

琵琶三美会

〒570

守口市緑町土居団地十一号  
電話〇六(九九二)五六二五番

大阪吟水会  
青木邦雄  
山田吟吟  
桜田吟吟  
北村玄水  
小金寄靖水  
小西甫水  
小川吟水

# 年 新 賀 謹

〒173

東京都板橋区板橋一丁目二十一  
番四号  
電話 (九六一) 一一〇〇番

池上作三

〒569

高槻市津之江町二丁目十二ノ三  
電話〇七二六(七一)六五八〇番

筑前琵琶橋会宗範  
山崎旭萃  
大和流琵琶吟家元  
山崎光椽

〒617

向日市西向日鶏冠井町山端二番地  
電話 (九三一) 一六九一

梅原旭濤

日本民主同志会中央執行委員長  
宗人世界救世教外事対策委員長

松本明重

京都市下京区四条通高倉西南角  
(大和銀行京都ビル8F)  
電話〇七五(二三一) 一四〇〇番  
雲濤居  
京都市山科区日ノ岡堤谷町七五一  
電話〇七五(五九二) 〇四〇四番

年 新 賀 謹

〒651 神戸市葺合区上筒井五ノ四ノ二  
電話〇七八(二二二)一一六一番

宝塚花組  
上原ま  
り  
(旭 艶)

筑前琵琶旭堂会  
旭会大師範  
柴田旭堂

〒060-91 札幌市中央区南六条西七丁目  
電話〇一一(五二二)七二五二番

岳城流薩摩琵琶  
広川岳楓

〒359 所沢市日吉町十七ノ十三  
電話〇四二九(二二二)三一七五番

平井洲誠

日本琵琶楽協会企画部  
錦心流琵琶大館派教授

〒183 東京都府中市新町二ノ六八  
電話〇四二三(六一)五六八四番

薩摩琵琶  
吉水錦翁宗家代行役  
坂本錦道

年 新 賀 謹

〒343 越谷市大成町一ノ二三九二  
電話〇四八九(八二二)一一四一―三番

日本琵琶振興会  
鈴木流泉

〒370-12 高崎市岩鼻町局前一四七  
電話〇二七四(四六)二〇〇六番

全国朗吟文化協会関東副部長  
テイチクレコード専属  
群馬琵琶連盟会長  
日本錦古流総本部会長  
宗家針谷錦古

〒420 静岡市西草深町二十一番二十号  
電話〇五四二(五三)一四七一番

吟詠 赤心流  
琵琶 赤心流  
家元  
赤心流鶴翁

# 謹賀新年

<p>〒176 東京芸友社 電話(九九一)〇三六三番</p> <p>鈴木 誉士</p>	<p>〒569 高槻市南総持寺町 電話〇七二六(九六)八五一六番</p> <p>吉井 良三</p>	<p>〒198 東京都青梅市大門七八七ノ一 電話〇四二八(二二)四四五八番</p> <p>岡部 錦蝶</p> <p>薩摩琵琶錦水会 正絃会・四明会会員</p>	<p>〒181 東京都三鷹市上連雀二ノ九ノ十二号大村方 電話〇四二二(四四)一四一六番</p> <p>三位研修同志会本部 同志一同</p> <p>日本琵琶</p>
<p>〒485 浜松市安松町三三ノ四 電話(六一)三五五四番</p> <p>西篁会主 柿沢 篁峰</p> <p>正絃会・鶴彦会会員 君塚篁陵門下 篁流詩吟・琵琶</p>	<p>〒113 東京都文京区根津二ノ一五ノ二 電話(八二二)五七〇八番</p> <p>都派琵琶 家元 都 錦穂 會員一同</p>	<p>〒168 東京都杉並区下高井戸五ノ二二 電話〇二二(三〇三)五八九四番</p> <p>あさひこ短歌会 翠琵琶宗家</p> <p>竹下 翠風</p>	<p>〒604 京都市中京区西ノ京西鹿垣町一 電話〇七五(八四一)二九八九番</p> <p>錦心流琵琶 牧 南水</p>
<p>〒602 京都市上京区堀川通榎木町角 電話〇七五(二一一)四〇三三番</p> <p>中島 旭穂 (吟号穂風)</p> <p>本年四月実兄が病歿致しましたため 新年の御挨拶を申し上げるべきところ 喪中につき御遠慮させて頂きま す。なお時節柄一層御自愛の程お祈り申 し上げます。 昭和五十一年十二月</p>	<p>〒189 東京都東村山市美住町一ノ四 電話〇四二二(九九)九三二二番</p> <p>若宮 旭登</p>	<p>〒658 神戸市東灘区御影中町一ノ一四 電話〇七八(八五一)二六三番</p> <p>錦心流一水会 琵琶を楽しむ会</p> <p>田中 欸水</p>	<p>〒678 相生市相生三丁目一四ノ一七 電話〇七九(一一二)五一八番</p> <p>師範 浜本 旭好</p> <p>〒653 神戸市長田区梅ヶ香町一ノ四五 電話〇七八(六七)〇〇一八番</p> <p>師範 田中 旭昇</p> <p>筑前琵琶日本旭会</p>

# 謹賀新年

<p>〒237 横須賀市船越町一ノ五〇 電話(六一)三六七六番</p> <p>山田 幻水</p> <p>横須賀琵琶連盟会長</p>	<p>〒790 松山市柳井町一丁目 電話(二二)三三七一番 松山市立花町三丁目五ノ六番 電話(四一)三八八七番</p> <p>佐藤 晃絃</p> <p>日本琵琶楽会々員 愛媛琵琶連盟顧問</p>
<p>〒250-04 神奈川県足柄下郡箱根町強羅 電話〇四六五(一一)二一一二番</p> <p>押川 旭葉</p> <p>筑前琵琶橋会</p>	<p>〒431-31 浜松市積志町一八三一 電話〇五三四(三四)〇八七一番</p> <p>小野 鶴彦</p> <p>琵琶吟詠</p>
<p>〒678 相生市相生三丁目一四ノ一七 電話〇七九(一一二)五一八番</p> <p>師範 浜本 旭好</p> <p>〒653 神戸市長田区梅ヶ香町一ノ四五 電話〇七八(六七)〇〇一八番</p> <p>師範 田中 旭昇</p> <p>筑前琵琶日本旭会</p>	<p>〒171 東京都豊島区高松三ノ一二 電話〇三(九五五)三六四五番</p> <p>筑前琵琶 藤卷 旭鴻</p>



吉井良三  
 昨年七月二十三日京都祇園祭八坂神社の京都琵琶協会奉納演奏会にて引退の宮司も聴きぬ奉養の祇園の森に 琵琶歌渡りぬ 瞑目の耳に才絃の音牙えて 端座する身の みじろきもせず

平井洲誠

限りなき惜心いだし友等ゆく  
 光り求めて 手土産とせん  
 夜去れば朝くるものを人心  
 よどめばにぐるこの世なりけん  
 来る年も来る年も琵琶かゝえて  
 哀れ心にみたぬ日づく

芸談よもや



梧の助

大正の中期、一世を風靡した宗家錦心師は東京市内だけでの演奏会を四、五個所も人力車でかけ持ちされた。過労が積み重なって早や死にされた。

十月二十三日に亡くなった一水會長小山田賞水はその芸統を守るためにと老駟をいとわず要望に応じて西に東に長途の旅を続けた。

芝居の興行師は昔は博徒のようなもの。芝居が当ればよいが、不入りだと夜逃げ同然だった。

娘を女郎に売って暮をあげた話もあれば、女房を女郎に売ってしまい、その後、女郎を買いかよったという話もある。

女郎屋の方も料名もので亭主には半額で抱かせたという。

将棋の坂田三吉は木村義雄との対戦(京都南禅寺、昭和十二年)で娘を同席させた。婦人の同席を拒否された時に三吉は言った

「私の娘は男です」と。

のである。

琵琶を通じて国際親善

過労で倒れた。

明治末の円遊、談志、円太郎が寄席で人気を集めた頃、夜の間だけでも四軒、五軒を駆け付けた。

寄席と寄席の間は人力車で飛ばすのだが、しまいは寄席の高座を横切るだけで、何もしないで次の寄席に行ってしまったという。

ロンドンのスラムに生れ、アメリカで成功して、再びロンドンに帰ったチャップリンのところに来たファンレターは三日間で七万三千通になった。

その三分の一以上が金の無心の手紙。

そして彼は七〇〇人以上の名も聞いたことのない親戚が増えて、あまつさえ九人も母親が現われたとのこと。

田中鵬水氏の琵琶コレクション

琵琶がシャム(イラク)から我が国に渡来し、幾多の変遷を経て現在の薩摩、筑前琵琶となったことは衆知の通りであるが、その母国とも云うべきイラクから十一月、琵琶(ウード)の名手 MUNIA BASHIR (ムニヤ・バシール)氏が来朝し、同月二十五、六日両日京都田中鵬水氏宅を訪ね、同氏のコレクションに驚きると共に、琵琶の製法や音色の出し方など専門的な説明を求められ、又、ムニヤ・バシール氏のウード実演や田中氏の筑前琵琶演奏を弾交するなど、極めてなごやかな雰囲気をももたし出して、日伊兩國の親善に寄与したのは近來の出色であった。

両氏はこのあと浜松のヤマハ工場を見学し、三十日には東京、横浜などでウード演奏のほか、コロンビアレコードの吹き込みや、NHKテレビにも出演して帰国の途につかれた。

尚、田中氏は自己所蔵琵琶の内、四絃筑前琵琶(腹手に菊水の精巧な象牙の模様をちりばめ、楽器の両側には美事な彫刻を施し、糸巻は十六菊花を模した、一見高貴の方の所持品であったと思われる)一面を、イラク国立

博物館に寄贈されることとなり、近く日本外務省を通じて発送される。

琵琶コレクションのTV放映

十一月十四日(日)夜十一時半読売テレビ「私のコレクション」で京都の田中鵬水氏がアナウンサーの解説の中で、現在使われている多くの薩摩、筑前琵琶をはじめ楽琵琶、平家琵琶、盲僧琵琶、月琵琶、支那琵琶など大古から現代に至る自己所有の大型、小型百五十種の琵琶の陳列を前にして「羽衣」の一節を演奏し、邦楽器中最も古い伝統を誇る琵琶を広く紹介された。

因みに田中氏は琵琶楽振興発展のため希望の方には数面の琵琶を限り譲渡してもよいと云って居られる。(電話〇七五(六九一)〇二八番、三美会気付)。

東京国立劇場に浅野晴風氏演奏

十一月十八日(日)邦楽邦舞の会に日舞付「滄陽江」を演奏、薩摩琵琶での日舞は始めての試みて三千円の入場料を支払って来集した超満員の客に多大の感銘を与えた。特に琵琶は始めてという人が多かったにも拘らず終始静聴されたのは成功であった。

三位研修同志会十一月例会

十一月二十一日(日)三鷹市上連雀公会堂。春の調・滄陽江(上)立野岳朝 菅公・篠原櫻水 重衡・富田秀明 噫八月十五日・西村島峻

武絃会。一水会多摩支部合同研修会  
 十一月二十一日(日)昼小金井市福祉会館。滄陽江・高杉洲靖 城山・吉田曉洋 白虎隊・松田珠水 常盤御前・小山羽水 龜山上皇・清水源城 山科の別れ・小川吐水 舟弁慶・中村修水 乃木將軍・伊藤警水 五條橋・菊地甘水 金剛石・篠宮櫻水。以上研修を終り乾盃の後散会した。

泉 小松の操(一)伊藤鶴麗 白虎隊・三上鶴 淨 五條橋・小野ひろみ 椿姫観音・柿沢室 峰 大楠公・会主小野鶴彦 (以下来賓)安宅の関・吉田旭明 滝口入道・関口竜城 足柄山・山本鶴声。

第四回三ツ和会公開温習会

十一月二十五日(日)昼明石市民会館(千二百円)。仕舞、狂言、半能、日舞等四題の外神戸柴田旭堂、望月美佐両女史による「琵琶と書」が披露され好評を受けた。

筑前琵琶梅原旭濤、同矢吹旭美津、薩摩琵琶平井春嶺三氏の門弟で組織する三ツ和会が京都琵琶協会の後援で十一月二十八日(日)昼京都東山安井金比羅会館で首記開催され好天に恵まれ満員の盛況を呈した。特に舞台ズレのしない真面目な会員の熱演に好感が持て、終演後関係者一堂に会し乾盃小宴の後散会した。菅公・土肥 母の教・樋口 本能寺・中谷 赤垣源蔵・宮田 川中島・中出 別れの盃・齊藤 金州城・河野 花の白虎隊・伴仲三姉妹 石童丸・渡辺旭寿 二葉の桶・平井幸生 蓬萊山・菊地 伽羅の兜・清水旭翠 松の廊下・細川旭穂 秋風故郷の山・岡本旭村 茶白山・永井旭美 常陸丸・高田旭章 加藤清正・西村旭富 若き教盛・山崎旭栄 大楠公・一坊寺旭清 井伊大老・吉田旭礼 北の庄・富山旭黄 西郷隆盛・田中鵬水 柳の精・国友旭香 衣川・矢吹旭美津 坂崎出羽守・梅原旭濤 滄陽江・平井春嶺。

明石市古典芸能の会

十一月二十八日(日)昼浜松市山文旅館大広間。主催鶴彦会、後援市教育委員会外。教盛塚、小督の局、本能寺、静御前、壇の浦、菅公(以上琵琶吟六人) 木枯・川口 忠度・早川 送別・竹原 迷語もどき・石川 花紅葉・松木 桜井の駅・高林 吉野の奥・佐野 月下の陣・小野 桶狭間・中村鶴翔 寂光院・青島鶴瑛 滄陽江(上)大石鶴伶 同(下)染谷鶴

第九回薩摩琵琶演奏会

十一月二十八日(日)昼浜松市山文旅館大広間。主催鶴彦会、後援市教育委員会外。教盛塚、小督の局、本能寺、静御前、壇の浦、菅公(以上琵琶吟六人) 木枯・川口 忠度・早川 送別・竹原 迷語もどき・石川 花紅葉・松木 桜井の駅・高林 吉野の奥・佐野 月下の陣・小野 桶狭間・中村鶴翔 寂光院・青島鶴瑛 滄陽江(上)大石鶴伶 同(下)染谷鶴

山崎旭幸門下温習忘年会

十二月三日(日)昼高槻ホーリングクラブ二階の舞台付大広間に於て京阪神在住の山崎旭幸